

おおがわら

議会だより



第171号

令和6年5月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



インタビュー

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

「二目千本桜」
全国にも知られる桜の名所の町

プロフィール

てつか きょうこ
手塚 恭子 さん (金ヶ瀬6区)

川崎町出身

【家族】夫 子ども2人
4人家族

時の流れを 忘れる町

進学を機に交通の面から、電車を通る大河原町に移住しました。あれから20年以上も住んでいる事に気づき、そのくらい住みやすく、心地よい町なのだと思えて感じているところです。

子育てしやすい町

20年前の大河原町と今を比較すると、河川敷の有効活用や道路歩道の整備、保育の充実など多くの方々のお力添えで改善されてきた事に大変感謝しております。

た事に気付かされました。子育てのコツや手を抜く家事など助言をいただき、随分心が楽になったのを覚えています。また、保育施設が順に新しくなり、設備の安全性や衛生面でも安心して子供を預けられる環境が整ったように感じます。

大河原町といえば、「二目千本桜」ですね。すばらしい財産です。全国でも知られる桜の名所になりましたが、ここまで桜の健康を守るために多くの方々が協力し合ってきた事は、美しく開花した桜を見れば伝わってきます。桜まつり前に河川敷の一斉清掃が行われますが、毎年家族で参加させていただいています。桜のためにできる事は少ないですが、全国から来町して下さる方々には、きれいな道で欲しいな桜を楽しんで欲しいです。

交通弱者に力を注ぐ町

大河原町は、国道4号と東北本線が通り交通のアクセスが良く、車があればすぐに向かえますが、移動手段の無い方にとって町内移動は不便を感じます。デマンドタクシーは目的の地から自宅まで移動できて大変便利ですが、時間帯によっては、予約がとれず、次の時間まで待つ事になります。希望の時間に利用できる工夫、または町内巡回バスの運用で通院や買い物は随分楽になるのでは無いでしょうか。現在教育の現場では、



小学校の中学年から将来の夢に意識付けする取り組みが行われています。将来どんな人になりたいか。自分と向き合う時間です。子どもにとっては、まだわからず悩む時間のようです。町内には魅力ある企業が数多くあります。幅広い職種の方ともしっかりと関わりを持つて欲しいです。職場見学・体験を積極的に行い、将来の夢につなげるきっかけ作りをサポートして欲しいです。

■発行 大河原町議会 〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南19 ☎(0224)53-2800 ■印刷 株津田印刷

大河原町議会だより 28

わくわくの初登校
令和6年4月10日
(金ヶ瀬小学校)

令和6年度予算概要	②③
予算質疑・討論	④⑤⑥
議案審議(1月、2月、3月)	⑦⑧⑨
全員協議会	⑩
町政への提言	⑪
委員会活動	26
町民の声	28

一般会計

昨年より増
(前年度比12.4%)

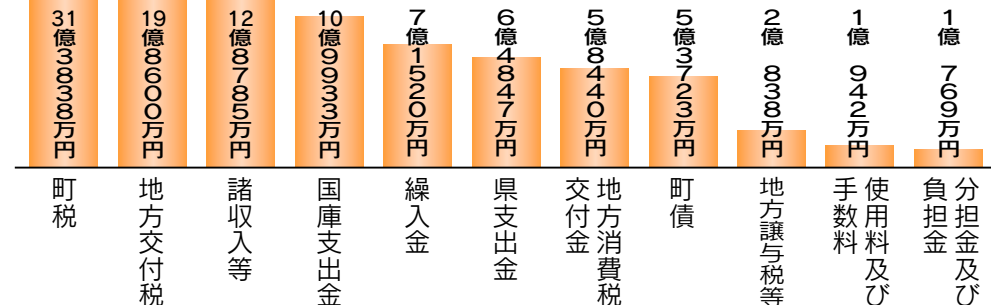
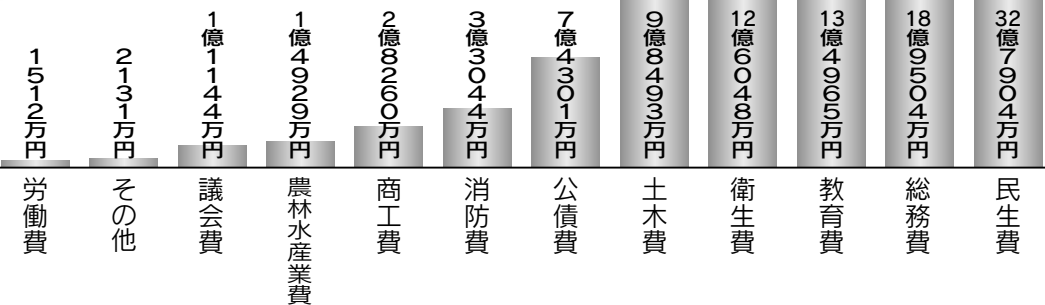
104億2235万円

歳入

3月会議

歳出

※四捨五入のため、
数値が一致しない
部分があります。



3月会議は、3月1日から3月15日までの会期で開きました。町から提出された議案（うち令和5年度各種会計補正予算5件、令和6年度各種会計予算、補正予算1件）を審議し、すべて原案通りに可決しました。
ここでは令和6年度に実施される主な事業を掲載します。



1億5400万円

賑わい交流拠点施設
整備盛土造成等工事



1億9520万円

金ヶ瀬小学校校舎・
体育館改修工事

事業名	予算額 (前年度比)
後期高齢者医療	3億5755万円 (20.5%)
国民健康保険	22億2978万円 (△5.6%)
介護保険	15億 944万円 (3.4%)
仙南夜間初期急患センター事業	4282万円 (10.2%)
地方卸売市場事業	257万円 (△1.2%)
合計	41億4216万円 (△0.4%)

事業名	予算額 (前年度比)
水道事業	収益的支出 6億2750万円 (6.3%)
	資本的支出 3億4752万円 (△2.3%)
公共下水道事業	収益的支出 7億4415万円 (18.8%)
	資本的支出 6億2822万円 (△3.2%)
合計	23億4739万円 (5.6%)

出産・子育て応援給付金 1300万円
小中学校特別教室エアコン設置工事 3740万円
川根工業団地用地拡張調査計画業務委託料 5200万円
ママのおでかけタクシー券助成金 130万円



1800万円

パークゴルフ場
パーゴラ等設置工事



※イメージ図（実際に設置する物とは異なります）

予算審査

令和6年度一般会計・特別会計・企業会計

活発な質疑可決

3月11日から14日にかけて行われた「予算審査特別委員会」での質疑の一部を掲載します。なお議長（岡崎隆）は含まれず、委員長（須藤慎）は議事運営のため質疑を行いません。

佐藤 暁史

地域学校協働活動事業推進補助金

問 南小「おやじの会」は、草刈りで活動資金を調達している。金小や大小にも団体が増えた場合、予算拡充が必要と考える。

答 南小「おやじの会」の取組みは大変素晴らしい。新たな団体への支援は検討する。



スポーツ体験教室

問 子ども達の体験のために大変有り難い予算だ。小学生が対象なのか。部活動が対象になるのか。

答 小中学生を対象にした教室にしたい。

中村 淳

放射能対策

問 令和6年度で稲藁等の焼却処分は終了となるので、次年度予算には計上されないのか。

答 令和6年度は終了したい項目だが、今のところ未定。実際の動向をみて検討していく。

役場庁舎補修工事

問 役場庁舎の変圧器の交換に要する、費用の内訳と容量は。

答 210万円程度で容量は7・5kVAで、役場の自家発電用の変圧器。40年前のもので化学物質が含まれている可能性があり、処分費用で金額が大きくなっている。



大沼 常次

バスケットゴール

問 総合体育館の移動式バスケットゴール新規購入費用1360万円。更新の理

由と現行のゴールの処分方法は。

答 体育館完成時に備えられたもので、古くなったための更新。処分方法は現在のところ未定。



文化・芸術振興

問 本町の文化・芸術分野の振興の予算は、学校教育に比較しても低く、事業内容も例年と代わり映えない。商業の町、スポーツを通じたまちづくりもいいが、潤いのある生活、自己の感性を生かした文化芸術活動への参加を促す事業を創り出せないか。

答 生涯教育は人生を豊かにするた

答 花火大会打ち上げ場所に埋設してある水道管の口径が細く、消火栓が設置できない。

佐久間克明

6次産業化支援

問 2月末に開催した地元野菜を使った料理の試食会を飲食店や取扱店だけでなく、更に多くの町民が参加し、継続開催できるようにしてはどうか。

答 名称の変更等の工夫をして、多くの人を巻き込んで開催したい。

電光モニユメント

問 桜イルミネーションが、都市部駅前にあるような「OGAWARA」の電光モニユメントをインバウンド補助金等、該当するものを探して設置してはどう

か。通年使える町の資産になる。

答 インバウンドや観光庁の補助金を活用してできないか検討する。



高橋 芳男

移住支援金

問 前年度より40万円増である。1

世帯のみの予算計上なのか。移住促進のための周知方法は。

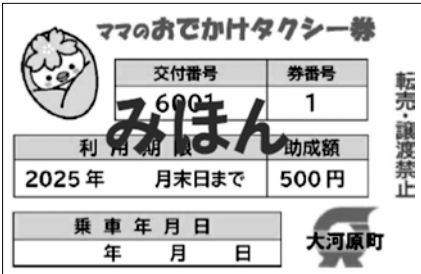
答 18歳以下の支援金が改正となっており、1人30万円から100万円に上がっている。周知については、町のホームページへの掲載と、宮城県や

東京都などでの移住フェアやイベントに参加している。

ママのおでかけタクシー券

問 利用者は何名を予定しているか。

答 この施策は町民からの声を反映したものの、利用者は130名を予定している。直接要望があったわけではないが、母子手帳交付時に話が合った。



丸山 勝利

民族資料収蔵品

問 現在、旧衛生センターに保管されており、平成15年3

月時点で1万5236点あった。令和6年度の活用予定はどうか。

答 予算は計上していないが、収蔵品を目に触れる機会を増やしながら管理をしていきたい。



狂犬病予防注射

問 接種率が令和4年度では81%だが、周知方法は。

答 未接種の20%は犬の死亡届の未提出等である。未接種の方には、後日通知を行っている。今後の周知徹底を図る。

山崎 剛

金ヶ瀬公民館

問 屋上防水改修工事は、令和6年度に設計業務、令和7年度に工事着手との説明があったが、建設資材高騰等で支障は出ないのか。

答 令和7年度に工事着手する場合は、施工業者が決まり次第緻密な計画を立てながら工事を実施していく。



万波 孝子

スクールソーシャルワーカー

問 近年、役割が重視されているが

めに必要なものである。今後、魅力ある生涯教育の充実に向けて取り組んでいきたい。

高橋 豊

スマートハウス補助金

問 補助メニューが変わっていない。最近様々な省エネ機器が出てきており、国の方でも補助を拡充している。時代に合わせて更新が必要と考える。

答 今後検討する。



消火栓設置

問 消防団5分団より、花火大会打ち上げ会場への消火栓新設の要望があげられている。予算計上されないのはなぜか。

答 利用状況は。相談者が増えているのであれば、回数を増やして対応すべきでないか。

答 子供、保護者からの相談がかなりあり、今後も需要が増えることが予想される。県での配置なので回数増を要望していく。

賑わい交流拠点施設

問 盛土造成等工事費1億5400万円が予算化されている。敷地面積5・89haにスポーツ施設を整備する計画となっている。この事業は議会では議決済みであるが、成功するの不安である。住民への説明は欠かせないと思うがどうか。

答 今回の工事は盛土工事。賑わい交流拠点施設の内容については官民連携手法導入可能性調査の結果に基づいて参画する企業を決定する。賑わいの創

1月会議1件、2月会議4件、 3月会議39件

計44件

議案 審議

出は行政だけでできるものではなく、町民の協力も必要。事業が進むことで町民との意見交換の場も出てくると思う。



秋山 昇

メンタルヘルスカウンセリング

問

詳細と結果は。

答

毎月1回、保健センターで実施。外部施設6箇所も臨床心理士のカウンセラーが廻っている。毎回数名の職員が、相談している。総務課からもカウンセリングの相談活用を周知し、カウンセ

ラーからアドバイスを受けている状況。

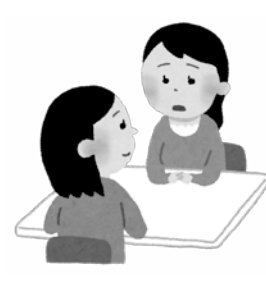
職員のストレスチェック

問

内容及び経過は。

答

毎年一回職員及び会計年度任用職員に行っている。集団分析として、各課の分析も行っている。受けた結果、高ストレスとなっている職員には、産業医の受診を勧めており、アドバイスを受けている。



大沼 忠弘

ふるさと寄付金

問

Amazon (アマゾン) が

ふるさと納税の仲介事業に参入するようだが本町で委託の考えは。

既に担当の方で話しを受けている。手数料の問題等もあり、今後検討していきたい。

答



地方卸売市場

問

昨年9月に下期の使用料を全額減免補正している。前年度より10万円の減額予算で大丈夫か。

答

売上見込みから計上している。



予算審査委員会の動画はこちら

※紙面の都合上、一人一問ないし、二問のみの掲載となっています。

総括 質疑

万波 孝子

問

水道事業窓口業務委託について

同。

① 令和7年度4月から新たに上下水道窓口、滞納整理、給水停止業務等5業務を委託するために、令和6年度中に公募による業者選定、契約締結を行うとしている。今後民間委託推進が懸念される。今回の方針は国・県の指導によるものか。

② 同じフロアで町職員と民間職員が業務をするが守秘義務の担保は。

③ 民間委託による経費削減額と職員減は何名か。

答 ① 全国的に水道事業運営が厳しく、民間事

業者を活用し事業の広域化など推進するように指導を受けた。

② 簡易的な問仕切りを設置すること、秘密情報の管理等に関する事項について契約を交わすことで担保されると考える。

③ 窓口関連担当職員4名程度削減。近隣市町との共同発注などを推進し、経費削減を図る。

大沼 常次

問

白石川右岸河川敷整備事業の賑わい交流拠点施設の造成、建設にあたっては拙速な事業推進は避けなければならない。

答

新たな賑わいの創出や持続可能な運営が可能となる方策を慎重に検討する。

問

町は施策を進めるにあたり町民からパブリックコメントを募集しているが、ほとんど意見が集まらない状況と聞く。町政に対する関心の低さをどう

のように捉えているか。

答

町民が町政へ参画することの意義を周知し、提言の機会確保に努めていく。

問

今年度、ようやく立ち上がった「町総合型地域スポーツクラブ」が体育館等の指定管理者が代わることでどのような影響があるか。

答

クラブの運営委員会において、本年末をもってクラブが解散することが決定された。

問

能登半島地震では、現在も断水が続いている。再び、先の東日本大震災級の地震が発生した場合、断水のシミュレーションはどうなっているか。

答

もし断水が発生した場合でも、一部の地域で10日程度で復旧すると見込んでいる。



総括質疑の動画はこちら

1月、2月、3月と3度議会が開会された。1月会議、2月会議は主に令和5年度予算の補正、3月会議は令和6年度に向けた予算や条例制定や改正について活発な議論がなされた。

令和5年度大河原町公共下水道事業会計補正予算(第3号)

稗田地区の雨水整備に伴う鷺沼3号調整池や幹線水路整備の基本調査及び設計業務を早期発注するための要望を行い、国の補正予算において補助金が認められた。

補正金額 4500万円

質疑

問

この事業を行う上で、当初は規模を縮小して早く造りたいとの話を伺ったこともある。何年度に完成予定なのか。

答

規模縮小という形は考えていない。令和7年度に詳細設計を行い、令和8年度に着手し、令和10年度に完成できるように進めている。



※鷺沼排水区3号雨水調整池の設置予定地

令和5年度大河原町一般会計補正予算(第11号)

パークゴルフ使用料

芝の育成状況などを勘案し、令和5年度は無料で体験出来るプレオープンとしていたため、全額減額となった。

補正金額 △300万円

質疑

問

当初の予定では半年あたり5000人の利用者を見込んでいたが、プレオープン期間中の利用者の合計は何人だったのか。また町内、町外の利用人数の割合は。

答

10月10日から2月末までで、約6000人。ひと月あたり1000人の利用者となっている。町内、町外の利用者人数の割合は、2月末では町内の利用者が3268人となっており、5割程となっている。



提出理由

令和6年度一般会計予算は予算審査特別委員会に諮られ採決の結果承認されたものの、一部事業については町民も関心を寄せており重大な案件であることから、予算の取扱いについて付帯意見を付けることを要求するもの。

付帯意見の内容

令和6年度一般会計予算に計上されている賑わい交流拠点施設整備事業に関連する事業の執行にあたっては、事業の趣旨、目的を達成させるため町民の声に傾聴しつつ、議会の意見等を十分勘案の上、緻密な計画のもと丁寧な説明と慎重な事業の進捗にあたるよう意見するもの。

討 論

反対
一般会計予算に対する付帯意見の内容については賛成するものである。しかし、予算審査特別委員会の中で「採決すべきもの」と決定した後に付帯意見を付することは委員会軽視になるため反対する。

賛 成
盛土工事が始まるが、議決をしてきた議会には賑わい交流拠点施設整備事業を成功させる責任があり、失敗は許されないものである。成功させるために住民への丁寧な説明が求められることから本議案に賛成する。

反対
委員会の採決後に付帯意見を付することは委員会の形骸化に繋がることから反対する。

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														岡崎隆
		佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	佐藤 貴久	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	
議案第35号 令和6年度大河原町水道事業会計予算	可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議
議案第36号～議案第38号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議 発 第 1 号 議案第29号令和6年度大河原町一般会計予算に対する付帯意見	否決(6:8)	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	議
委 発 第 1 号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請 願 第 1 号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席（欠席・遅刻・早退・退席） 投：無記名投票（人事案件など）

令和6年第1回 大河原町議会定例会3月会議 提出議案一覧

39件（同意1件、諮問2件、議案33件、議発1件、委発1件、請願1件）

- 同意第1号 監査委員の選任について
- 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第6号 物品購入契約の締結について
- 議案第7号 大河原町男女共同参画推進審議会条例の制定について
- 議案第8号 大河原町障害者通所援護施設条例の全部改正について
- 議案第9号 大河原町スポーツ施設条例の一部改正について
- 議案第10号 大河原町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- 議案第11号 大河原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第12号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 議案第13号 大河原町監査委員条例の一部改正について
- 議案第14号 大河原町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議案第15号 大河原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
- 議案第16号 大河原町介護保険条例の一部改正について
- 議案第17号 大河原町道路占用料条例の一部改正について
- 議案第18号 大河原町公共物管理条例の一部改正について
- 議案第19号 大河原町都市公園条例の一部改正について
- 議案第20号 大河原町営住宅の一部改正について
- 議案第21号 大河原町給水条例の一部改正について
- 議案第22号 大河原町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について

- 議案第23号 町道路線の認定について
- 議案第24号 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第11号)
- 議案第25号 令和5年度大河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 議案第26号 令和5年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第27号 令和5年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 議案第28号 令和5年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第3号)
- 議案第29号 令和6年度大河原町一般会計予算
- 議案第30号 令和6年度大河原町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第31号 令和6年度大河原町国民健康保険特別会計予算
- 議案第32号 令和6年度大河原町介護保険特別会計予算
- 議案第33号 令和6年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計予算
- 議案第34号 令和6年度大河原町地方卸売市場事業特別会計予算
- 議案第35号 令和6年度大河原町水道事業会計予算
- 議案第36号 令和6年度大河原町公共下水道事業会計予算
- 議案第37号 大河原町町税条例の一部改正について
- 議案第38号 令和6年度大河原町一般会計補正予算(第1号)
- 議 発 第 1 号 議案第29号令和6年度大河原町一般会計予算に対する付帯意見
- 委 発 第 1 号 大河原町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について
- 請 願 第 1 号 再審法《刑事訴訟法の再審規定》の改正に向けた審議促進を求める意見書の提出に関する請願

令和5年第4回 大河原町議会定例会2月会議 採決状況一覧

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														岡崎隆
		佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	佐藤 貴久	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	
議案第2号 大河原町手数料徴収条例の一部改正について	可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議
議案第3号 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第10号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議
議案第4号 令和5年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議
議案第5号 令和5年度大河原町公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議

令和6年第1回 大河原町議会定例会3月会議 採決状況一覧

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														岡崎隆
		佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	佐藤 貴久	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	
同意第1号	同意(14:0)	無記名投票による														議
諮問第1号	適任(14:0)	無記名投票による														議
諮問第2号	適任(13:1)	無記名投票による														議
議案第6号 物品購入契約の締結について	可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議
議案第7号～議案第34号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

万波 孝子P⑫

- 介護保険事業について
- 「マイナ保険証」廃止について

高橋 芳男P⑬

- 着衣のまま、安心できる学校健診について
- 女性の視点からの避難所運営
- 紙おむつのサブスクリプションについて

丸山 勝利P⑭

- 観光事業について

大沼 忠弘P⑮

- 安心な生活環境構築について
- 本町のブランド力向上について

佐藤 暁史P⑯

- 災害対策について

中村 淳P⑰

- 町内小中学校の今後について
- 庁舎隣接地の活用について

佐久間 克明P⑱

- 歯科口腔保健推進条例の制定を

須藤 慎P⑲

- 部活動地域移行について

佐藤 巖P⑳

- みんなの市場設置・調査結果は
- 東部7区連絡協議会からの要望への対応について
- 東部集会所の建替えについて

高橋 豊P㉑

- 公共工事について
- グラウンドの砂埃について

山崎 剛P㉒

- 街の幸福度アンケート調査の実施を
- 改革が求められている学校の部活動

大沼 常次P㉓

- 行政評価における事務事業評価の「見える化」による行政の透明性の向上とアカウンタビリティについて
- 水泳の授業時数未実施に伴う代替措置の必要性について
- ※新設デジタル政策推進室の成果と課題について

秋山 昇P㉔

- 環境政策全般の改善を望む

岡崎 隆P㉕

- 民生児童委員の待遇改善を
- 有事の際の自治体間の支援体制の強化を
- ※S▷PARKの更なる活用を

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。(https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/)

各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

町政への提言Q&A

一般質問

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は14人の議員が行いました。

流域水害対策協議会設置・人権擁護委員の推薦 障害者通所援護施設条例改正・地域福祉計画策定 男女共同参画推進審議会条例制定

などの説明、報告事項22件の中から

全員協議会

令和5年度地方創生臨時交付金について

令和6年3月1日現在

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
(1億3842万2千円)の活用 (単位:千円)

対 象	事業名(概要)	予算執行見込額	交付金見込額
町 民	低所得世帯支援給付金事業 (対象1,991世帯) 住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円給付	64,191	64,191
町民・ 事業所	水道料金減免生活者支援事業 (令和5年7月から9月) 官公庁を除く給水契約者の水道料金の一部を免除	68,283	68,283
町 民	学校給食物価高騰分負担軽減事業 (対象約2,000人) 給食食材費の増額に対し児童・生徒の保護者負担の軽減	7,040	5,948
合 計		139,514	138,422

令和5年度 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
(2億6440万6千円)の活用 (単位:千円)

対 象	事業名(概要)	予算執行見込額	交付金見込額
町 民	住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業 住民税非課税世帯、約2,200世帯に対し 1世帯7万円給付	154,000	154,000
町 民	低所得者物価高騰対策支援事業 住民税均等割りのみ課税世帯、約400世帯 に対し1世帯10万円給付	40,607	40,607
町 民	低所得者物価高騰対策支援事業 住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯 に属する18歳以下の子供がいる世帯、 約330人に1人あたり5万円給付	16,759	16,759
事業所	エネルギー価格等高騰対策に係る介護及 び障がい者(児)サービス事業所支援事業 対象26法人に10万円	2,600	2,600
事業所	エネルギー価格等高騰対策医療機関支援 事業 対象48医療機関に10万円	4,800	4,800
事業所	民間保育所等物価高騰対策特別支援事業 保育所入所児童1人あたり1万円、幼稚園 入所児童1人あたり3千円 対象：民間保育所4カ所+小規模保育所 4カ所=512人 民間幼稚園1カ所106人	5,438	5,438
町 民	おおがわら商品券(おおがわら暮らしほっ こり商品券)発行事業 対象：約23,800人に1人あたり5千円の 商品券	121,825	22,633
農業者	肥料等価格高騰対策事業 対象：営農計画書を提出した農業者約400 戸及び畜産業4戸	9,729	9,729
町 民	大河原小・中学校入学準備支援金交付事業 令和6年度入学の小学生188人、中学生 204人の保護者に2万円	7,840	7,840
※一部、令和6年度に事業繰越が見込まれる。 合 計		363,598	264,406

- 令和3年4月分から令和6年1月分について対象2世帯から①控除金額の誤り②裁量階層の適用漏れにより、25万2千500円過大徴収していた。
- 再発防止策①使用料を算定するマニュアルの見直し職員で共有する。②チェックリストを作成し、複数人でのチェックを徹底する。

- 令和6年4月から令和9年3月末の委託契約について令和5年12月に契約締結の事業所から令和6年1月22日に、車両及び人員確保が進まず契約解除の申入。令和6年1月26日より3カ月の指名停止を決定。
- 現在の事業所に同期間2億2千万円の随意契約を行う。

- 上下水道に関する窓口及び電話受付業務
 - 水道開閉栓
 - 水道メーター検針(令和4年から委託済)
 - 上下水道料金の賦課・収納業務
 - 滞納整理及び給水停止業務
 - 給排水装置管理業務
- 期 間 令和7年4月から令和12年3月の5年間
委託内容
- 人口減少等による料金収入減や水道施設の老朽化対策のための施設更新により、今後水道経営が厳しくなる見込み。そのため経営の効率化やサービスの維持向上を図るため、これまで職員が行っていた水道料金窓口業務、給排水装置管理業務等を高度な技術や専門性豊かな経験等を持つ民間事業者による業務の一部を委託。
- 水道事業の根幹を担う業務は、これまで同様、町が責任をもって行う。

町営住宅使用料の算定誤り

一般廃棄物収集運搬業務委託契約に係る経緯

大河原町水道事業窓口業務委託

一般質問

介護保険

介護保険料は引き下げを

施設サービス量増で困難



万波 孝子

第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）がスタートした。所得段階区分は9段階から13段階に細分化された。

万波 保険料は8期と比べて値上げになったが理由は。

町長 今後の介護認定者の増、介護サービス費用が多くなることが予想されることから値上げとなった。物価高騰で暮ら

調整基金約5億円を最大限取り崩して保険料を引き下げることが出来なかつた理由は。

町長 財政調整基金1億1740万円

万波 訪問介護事業の倒産が増えている。ヘルパー不足で訪問介護が利用できない状況はあるのか。

福祉課長 サービスを利用できないとまでの認識はない。

万波 千葉県船橋市では独自に低所得で利用が困難な人に対して一割の利用者負担の40%を助成している。

福祉課長 負担軽減は考えていない。アンケートは検討したい。

マイナ保険証は廃止し 現行の保険証は継続を

今秋に現行の健康保険証と一体化した「マイナ保険証」が始まる。しかしトラブルが多発し国の調査でも国家公務員の利用率が低く普及していないことが分かっている。医療団体からは保険証を残すとの声が広がっている。

万波 本町のマイナ保険証への紐づけの状況は。

町長 マイナカード取得率80%の内、国保加入者の63・6%が紐づけている。

万波 マイナ保険証のメリット、デメリットを示してほしい。

町長 メリットは過去の医療・薬剤情報等適切な医療を受けることが可能になる等。デメリットはシステムに不具合が生じた時やマイナ保険証が利用できない医療機関の時は従来の保険証も保持し

なければと捉えている。個人情報が出たら甚大な被害を受けるのは町民である。個人情報を守るためにもマイナ保険証は廃止しないと考える。国に求めていくべき。

町長 個人情報の取扱については適正に対応し、被保険者が安心してマイナ保険証を利用できるよう努める。

区分	所得段階	保険料率	介護保険料（円）	
			月額	年額
第1段階	生活保護、老齢福祉年金受給、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が90万円以下	基準額×0.455	1,820円	21,840円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が90万円超120万円以下	軽減措置：0.285	1,140円	13,680円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超150万円以下	基準額×0.685	2,740円	32,880円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が150万円超180万円以下	軽減措置：0.485	1,940円	23,280円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が180万円超	基準額×0.690	2,760円	33,120円
第2段階	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が90万円以下	基準額×0.685	2,740円	32,880円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が90万円超120万円以下	軽減措置：0.685	2,740円	32,880円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超150万円以下	基準額×0.900	3,600円	43,200円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が150万円超180万円以下	基準額×1.000	4,000円	48,000円
	本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が180万円超	基準額×1.200	4,800円	57,600円
第3段階	本人の前年の合計所得金額が120万円未満	基準額×1.300	5,200円	62,400円
	本人の前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満	基準額×1.500	6,000円	72,000円
	本人の前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満	基準額×1.700	6,800円	81,600円
	本人の前年の合計所得金額が320万円以上430万円未満	基準額×1.900	7,600円	91,200円
	本人の前年の合計所得金額が430万円以上520万円未満	基準額×2.100	8,400円	100,800円
第4段階	本人の前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満	基準額×2.300	9,200円	110,400円
	本人の前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満	基準額×2.400	9,600円	115,200円
	本人の前年の合計所得金額が720万円以上			

介護保険料が13段階に

着衣で安心な学校健診を

プライバシーに配慮する



高橋 学校健診については、原則着衣でOKとなっているが、

学校によって対応の違いが有り、不安の声が上がっている。文部科



高橋 芳男

女性視点の 避難所運営

高橋 避難所運営の課題として、更衣室・物干し場・入浴施設・トイレ等の設置や女性や子どもの保護のための男女共同参画部の設置がある。わが町では、男女共同参画部は設置されているか。

町長 男女共同参画の担当は政策企画課が担当になっているが、特化する部署やセンターは設置していない。女性用災害備蓄品は、生理用品のみだが、今後は内容の充実と、配布方法については検討していく。

おむつのサブスクリプション

高橋 さいたま市で実施した保育園児へのおむつのサブスクリプションでは、約9割の家庭が参加し、登園準備の手間がなくなったと評価されている。保護者からは「家庭で買うおむつの量が減り助かる」との声が上がり、「有料でも利用したい」との要望が半数を超え、早期実施を検討している。わが町でも導入を検討すべきだと思いが、見解を伺う。

町長 事業の導入について、保育施設と保護者のニーズを共有し、併せて先行自治体の事例を研究していく。

新たな支援策はあるか

状況により考えたい

大沼 予定されている新たな給付、免除等経済的支援策はあるか。

町長 国の支援として令和6年度は所得税及び住民税に係る



喜ばれる全町民に一律の支援

町独自の支援策は検討していないが、物価高騰の影響など状況によって必要な支援を考えたい。

大沼 病児・病後児保育施設整備の要望等はないか、また整備することへの構想、考えは。

町長 年に1、2件程度要望有り。大変重要な事業と捉えている一方、実施にあ

大沼 国保の基金を取り崩して保険料軽減出来ないか。

町長 保険料水準の統一化や県に対する納付金の増額等に対応する財源として活用する考えであり、軽減は考えていない。本年度より基礎課税額の世帯別平等割額の引き下げを行っている。

大沼 宮城ふるさとブランドPRの為に独自のアンテナショップ展開への可能性、見解は。

町長 宮城県物産振興協会において、後継の店舗開設をできないものか検討を進めているとの方針が示されていることから、今後の動向に注視。

大沼 これから整備が進んでいく賑わい交流拠点施設もブランド力のある施設にしていきたいために、コンセプトやイメージが明確

であるべきと考える、現段階で示せるものがあれば示して欲しい。

町長 基本コンセプトは、

- 本町の誇りである「一目千本桜」と連携し、新たな校の名所としての空間づくりやその魅力を発信する場となること。
- これまで整備を行った「おおがわら千本桜スポーツパーク」各施設の利用促進する拠点となること。
- 広域的な自転車の活用やすべての世代が楽しめるスポーツの拠点、更には周辺地区における一時的な避難場所や防災拠点となること。

観光

一般質問

新井ひとみさんを観光大使に

思いはぜひお願いしたい

丸山 長く続いたコロナ禍も、新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日より2類相当から5類に移行され、疲弊していたインバウンドや観光産業も順調に回復傾向にあると思われる。

河原町の観光事業はどうか。

町長 令和5年度は桜まつりを皮切りに植樹100周年記念として様々な事業を行い、マスコミ等にも取り上げられ、「白石川堤一目千本桜」への注目が高まった。白石川堤を舞台とする「千本桜を千年先へ」の思いを掲げ、インバウンド観光も含め、賑わいのある通年観光事業に取り組んでいく。

丸山 「広報おおがわら」の「がわらlink」に大河原町出身で、「東京女子流」のセンターで活躍している新井ひとみさん（avex所属）との対談が掲載されていたが、新井ひとみさんに大河原町の観光大使になつていただいてはどうか。

町長 私の思いとしては是非お願いしたい

い思いだが、活動していただくロケーションは仙南全体が望ましいと考えている。

丸山 大河原町にも歴史的に興味深い地がある、馬取田などは1189年（文治5年）に、誰もが知る鎌倉幕府の初代征夷将軍、源頼朝が奥州藤原氏を攻めた奥州合戦において総大将の藤原国衡が戦死した地で、その馬取田を見下ろす馬取山

がすぐ近くにある。馬取山には公園がある。整備して観光PRしてはどうか。

また、伊達政宗の家臣で、大崎合戦に伊達軍の軍奉行として出陣し中新田で戦死した小山田筑前頼定の居城が小山田地区にある。道路沿いに紹介する案内板など設置してはどうか。



丸山 勝利

町長 両方とも興味深いところなので周辺地も含めて整備を考えたい。

教養 丘陵地帯は歴史の宝庫となっている。文化財保護委員とともに看板などの設置に取り組む。



みやぎ仙南応援大使に就任された新井ひとみさん

一般質問

災害対策

トイレカー導入を

仮設トイレで対応する



佐藤 暁史

町長 トイレ対策は民間のレンタル業者との協定により対応する。

佐藤 宮城県沖地震、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝地震、いつ起きるか喫緊の問題。そういうことを踏まえトイレカーを導入する考えはないか。

佐藤 本町が被災し避難所が設置された場合、トイレ設置が重要な問題。移動可能なトイレカーを導入し、起こりうる大きな災害に万全の備えをするべきではないか。

佐藤 県外では「自治体トイレカー災害時相互派遣に関する協定」を結んでいる例もある。大河原町でトイレカーを導入すれば、被災した自治体に無償で貸し出すことが可能。大河原町が中心となつて自治体間の連携を強化し、災害が起きた時の体制づくりをするのも大事ではないか。

総務課長 トイレカーは維持管理に課題がある。

ある。

佐藤 大河原町はイベントが多い。花見の時期に堰がある絶景ポイントにトイレカーを置くことも可能。突然の大雨でも免許があれば誰でも移動できる。またパークゴルフ場で、高齢の方が階段を上ってトイレに行くより、トイレカーが良いのではないか。

町長 災害時トイレカーが機能したか



「トイレカー。災害時もイベント時も大活躍！」（※写真は利府町様より提供）

佐藤 検証が必要。大きなイベント時レンタルでも活用できる道がある。東のお不動さん、西の高山神社、歩いて初詣に行つたとき下にトイレがあったら良い。昆虫公園はトイレが無い。下水も通つてない。地域の特色あるイベントなどを開催した時、トイレカー

が設置してあれば、「人と人」「地域と人」が交流できるのではないか。
町長 強い要望があるというふうに見える。要望を受け昆虫公園に水飲み場を設置した。トイレカー、新たなトイレの設置は残念ながら優先順位は高くないと考える。

学区再編の考えは

時期・条件の見極め後



長期総合計画では校舎は長寿命化

今年度、文教厚生委員会 所管事務調査で、各学校施設に老朽化が見られた。今後の長期計画に、建て替えの項目がないことから以下質問する。

中村 今後、学校施設は全て大規模改修によつて維持していくのか。

教育長 町の公共施設管理計画の目標に基づき、大河原町学校

施設等長寿命化計画を策定しており、計画的な改修を行い維持していく。

中村 今後、中学校統合案が浮上した場合、比較的新しい両体育館の扱いをどのように考えるか。

教育長 中学校統合等は、現時点では考えていない。体育館は、地域コミュニティの核。時期がきたら住民の意向を踏まえ討論すべき。

中村 今後も学区再編の考えはないか。

教育長 学区再編は、行政再編の議論が先。住民の学校への

思いも汲み、再編の必要な時期、条件を見極めた後に取り組むべき。

中村 既に、行政区の合区、分割は必要になっていると考えるが如何か。

町長 町が一方的に決めることはなく、地域住民と議論する時期は来ると認識する。

土地取得後の活用は

中村 先般取得した庁舎隣接地は、駐車場不足の対応に使用すると聞く。今後の活用の構想は。箱物行政の時代ではないが、必要なものは建設、更新すべき。町が必要と考える施設とは何か。

町長 保健・子育て等に関する体制整備、時代に即した庁舎の効果的な活用について、柔軟で多角的な対応・検討を可能にする

ことも目的としている。施設建設ありきではなく、施設の効果的な配置、機能の持たせ方、ニーズ変化への対応を検討する。

中村 昼の来庁者対応と職員の福利厚生を考えると、自席で昼食をとる現状は、どのような認識か。

町長 各課で状況は異なるが、休憩場所として、役場庁舎二階の和室を確保している。

中村 昼時間に来庁すると、食事中的職員がいて声をかけづらいと聞く。場所が足りないのでは。新設する建物に会議室を移す等、場所を確保しては。

町長 今後の検討になると思うが、現時点ではすぐに解決できるものではない。

小中学校



中村 淳

施設利用料の減免を

条例・規則改訂で対応したい

公立中学校の休日の部活動について宮城県教育委員会では、2023年度を移行検討期間、2024年度から2025年度を改革推進期間と位置付けている。河北新報によると2024年度は、14自治体が段階的に移行を



小・中学生、保護者向けのチラシ(宮城県作成)

始めるとの報道であった。**須藤** 本町の現状は、**教育長** 教職員・保護者を対象とした説明会を実施。地域移行通信を活用し制度周知を図っている。

須藤 令和6年度の地域移行に向けての取り組みは、部活動地域移行コーディネーターを2名増員し準備の整った部活動から順次段階的に移行を進める予定。併せて新たな外部指導員の確保や活動内容の充実を図ってきたい。

教育長 令和4年11月に「兼職兼業としての希望するか」のアンケートを実施。「希望する」が28・6%、「希望しない」地域人材に任せる「が65・3%、「どちらともいえない」が6・1%。

須藤 宮城県内で積極的に取り組んでいるのが岩沼市であるのと捉えている。岩沼市は指導者の派遣を民間業者に完全委託している。今後、本町も民間委託していくべきと考え。

教育長 全てのスポーツ活動を地域、あるいは自治体ということになれば民間委託という手法も考えていかなければならないと思っている。

須藤 土日に活動を行う新たなクラブチームも立ち上がっている。スポーツ少年団や体育協会に加盟していないと施設利用料が

須藤 慎

口腔ケア

一般質問

推進条例の制定を

制定より何をするかが大切

歯と口腔の健康は全身の健康につながるとも言われる。成人期は

表1

①	歯科衛生士が正職員で採用されている。
②	成人歯科検診として20歳30歳と70歳まで10歳ごとに500円で口腔内検診、保健指導を行い、対象年齢には受診票が送られてくる。
③	町ホームページで「セルフメディケーションをいましょう」と啓発している。

表2

20歳	15人
30歳	11人
40歳	24人
50歳	44人
60歳	14人
70歳	31人
合計	139人

行政が関わる歯科健康活動の機会が少なくなっているのか、本町の現状を調べた。表1のとおり既にしっかりと取り組まれている。**佐久間** 成人歯科検診の数は、**町長** 仙南歯科医師会へ委託し毎年6月1日から11月30日の

条例」を制定してはどうか。**町長** 第2次大河原町健康増進計画の中で「歯・口腔の健康」を明記し歯科口腔保健施策を推進している。基本的な考え方は、何をしたいかが大事で条例制定が先行してもしょうがない。啓発という意味において条例制定を考えることは今後の課題としたい。

佐久間 8020運動やオーラルフレイルの啓発、セルフメディケーションの取り組みは、



町長 歯と口の健康週間に合わせて、令和5年6月の広報おらがわのすこやかコラムに「歯周病と全身の健康」や「8020運動」などの記事を掲載。また、保健協力員が中心となり開催している各地区の健康教室や後期高齢者医療被保険者証の交付説明会において、オーラルフレイルに関する健康教育を実施。セルフメディケーションに関しては、ホームページに掲載し、自発的な健康管理や疾病予防への取り組みについて周知を行っている。

佐久間克明

一般質問

卸売市場



佐藤 巖

設置提言への答弁を

みんなの市場の在り方を検討

佐藤 不振の続く大河
原地方卸売市場
の一部を仕切つて共存
する「みんなの市場」
設置提言し続けて5回
目の一般質問となる。
町長答弁は設置は調査
研究が必要と繰り返し
の答弁だった。これま
での調査行程を示して
ほしい。

町長 法令面の条例規
則で卸売市場敷
地利用は市場及び市場
使用者の便益のみ承認

すること都市計画さ
れており現行法令で卸
売市場以外の用途使用
はできないことを確認
している。「みんなの
市場」が卸売市場と共
在し地域づくりや経済
効果を生む施設として
の在り方等を含め卸売
業者や関係団体の意見
も踏まえ慎重な検討が
必要と考える。

町長 市場の立地につ
いては国道4号
を挟んで北側の地域で
は、以前から大型商業
施設や公共施設が集積
し、近年でも新たな出
店があり、市場周辺商
店街への経済効果の波
及の要因はあるものと
考える。卸売市場の運

営継続が第一と考える
ため、「みんなの市場」
の在り方についても検
討していく。

佐藤 東部7区連絡協
議会統一した行
政要望が提言された。
提言に対し令和6年度
予算に組入れられてい
る予算はあるのか伺う。

町長 鷺沼5号雨水調
整池の供用開始



「みんなの市場」設置による地域活性化を

**東部集会所の
建て替えを**

佐藤 令和4年10月に
錦町地区で要望
書を提出している、東
部集会所の建替えにつ
いての検討状況は。

町長 町として東部集
会所の建替えは
優先順位が高いと認識
している。

物価高騰発注単価見直しを

考慮は必要



物価高騰に柔軟な対応を望む

2021年からの世
界的な原材料の品薄・
高騰により、建設業に
おいても幅広い資材に
おいて、かつて経験の
ない価格高騰・納期遅
れが発生している。

公共工事においても
資材価格や調達状況、
協力会社の労働者も含
めた賃上げを適切反映
した価格・工期での契
約締結が必要であると
考え以下質問する。

高橋 本町における労
務単価、資材単
価の水準はどのような
基準なのか。

町長 本町が公共工事
で使用している
単価は宮城県から提供
を受けた単価になって
いる。資材単価は市場
価格の変動により変更
が生じた場合には毎月
改定している。

高橋 建設技術者、労
働者の成り手不
足が深刻である。また、
物価高騰により建設業
界では厳しい経営にな
っている。現状の問題
解決として公共工事の
発注単価を上げるべき
と考えるがどうか。

町長 本町発注の工事
について考慮は
必要と考える。

高橋 公共工事契約後
に追加工事が多
いと感じる。調査不足
や積算漏れが原因とな
っているケースもある。
本町の考え方を伺う。

町長 担当職員のスキ
ルアップや関係
者との事前協議により
防止できるよう努める。

**グラウンドの
砂埃について**

高橋 学校のグラウン
ドや校庭の砂埃
が強風にあおられて飛
散して困っていると相
談を受けた。町の対応
について伺う。

教育長 大河原小学校や
金ヶ瀬中学校のグラウ
ンドについて砂埃の相
談があった。大河原中
学校と金ヶ瀬中学校は
防砂ネットを設置した

結果、砂埃防止の効果
が上がっている。大河
原小学校について校庭
の東側に設置した緊急
車両用の通路が風の通
り道となったことで近
隣の住民の方から改善
を求められている。

高橋 砂埃の飛散を防
ぐため土壌改良
や人工芝・ゴムチップな
どの対策もある。今後
の対応について伺う。

教育長 大河原小学校の
校庭約6000
㎡を人工芝やゴムチッ
プに整備すると2億円
近い費用がかかり現状
では難しい。

高橋 費用面では土壌
改良が良いと思
う。また、早期の対応
として防砂ネットを高
く設置できないか。

教育長 改善するよう取
り組む。

公共工事



高橋 豊



一般質問

ごみ収集

環境政策全般の改善を



秋山 昇

十分に検討する

秋山 これまで町は、ごみ収集運搬事業に対し認識が甘いと考える。町長はごみ収集というインフラ事業について、どのような認識でいるか。

し入れは残念であるが、業務委託の使用内容や入札方法等を、十分検討していく。

秋山 平成25年10月より開始された町内5か所のリサイクルステーションの回収状況は、年々実績を伸ばしている。昨年より本年度にかけて缶類7.7%、ペットボトルは10.5%回収量が伸びている。今後も回収量は増えていくと捉えているか伺う。

町長 町内のごみ収集運搬については法律に基づき一般廃棄物処理として町民の生活環境や公衆衛生の向上を図る重要な事業と考えている。今回の業者からの契約解除の申し入れは残念であるが、業務委託の使用内容や入札方法等を、十分検討していく。

町長 リサイクルステーションの認知度も上がっており、今後も回収量は増えていくと捉えている。

秋山 各行政区からのゴミ集積所における、不法投棄についての苦情や相談が多いに寄せられている。町内490か所の集積所に於いて、行政区、各班長、集積所近隣の方などからの相談状況は、

相談内容として、正しく分別されていないごみや、粗大ごみが出されていることについての相談が多い。対応として、ゴミを出した方に持ち帰るよう、周知を行っている。

秋山 今後のリサイクルステーションが更に有効活用されていくのであれば、役場本庁舎の一角所だけでも、土日、祝日の利用



ごみ収集事業の改善を

秋山 役場庁舎内に設置されているリ

町長 現在役場庁舎で日曜日のみ利用できるようにしている。日曜日だけでなくかなりの量が出されるため、土日の利用ができるようにするには、前日出されたものを片づける必要がある、人件費が増加することとなる。

サイクルステーション利用者から、手が汚れてしまい困っているとの声が出ている。簡易的な手洗い場を設けることはできないか。

町長 ルール通りに出していただければ、手が汚れる状況は少ないと思われる。また今のところ設置は考えていない。

自治体間相互支援体制を

連携を強化する必要がある



支援協定で町民の暮らしと命を守る

わが町もこれまで様々な企業等と災害時の支援の連携を構築してきたが、大規模な災害時には一定程度の距離にある災害を共有しない自治体との支援協定による町民の命と暮らしを守る取り組みが今後の課題と考える。

離にある災害を共有しない自治体との支援協定による町民の命と暮らしを守る取り組みが今後の課題と考える。

岡崎 自治体間相互支援の検討はされているのか。

町長 受援計画、支援計画策定の検討や準備を進める必要ありと受け止めている。

岡崎 トイレや水の問題等、今後のどのような自治体間の支援体制が望まれると捉えているか。

町長 全国的に大規模な災害が頻発するなか、自治体間の連携を強化する必要がある。

岡崎 能登半島地震に

おいてもトイレの問題が深刻であったが、本町でもトイレカ

町長 全国的に大規模な災害が頻発するなか、自治体間の連携を強化する必要がある。

岡崎 能登半島地震に

おいてもトイレの問題が深刻であったが、本町でもトイレカ

町長 全国的に大規模な災害が頻発するなか、自治体間の連携を強化する必要がある。

岡崎 能登半島地震に



岡崎 隆

の導入は必要であると考えられているか。

町長 すべてがトイレカードで解決には至らないと考えるので検証はする。

岡崎 本町では年間16日程度のイベントで仮設トイレをリースしている。一日3万円程度の費用が発生している。一会場当たり20基程度リースしているが年間1千万円程度予算を割いている。一台で2機のトイレがあるトイレカー、一台700万円程度のもので2台購入しイベント時に利用すれば十分に費用対効果は100%以上のものであり、支援協定の中でも大きな役割を果たすと考えられているか。

町長 検討はするがやはり検証が必要である。

岡崎 一人当たり年間均162日間活動していただいているにも拘らず月12000円程度の手当てを受当だと考えているのか。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

町長 生活困窮者や重層的困難事例、安否確認等も増えており早急に謝礼金の増額を検討し待遇改善を図るよう取り組む。

委員会活動

総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会はそれぞれ次の内容について調査を実施。広報常任委員会は議会だより発行に向けて編集作業を4回実施。

総務産業常任委員会

調査日 令和6年1月23日(火)

①再審法《刑事訴訟法の再審規定》の改正に向けた審議促進を求める事項について

請願者より説明を受け、委員会内にて検討した結果、委員会として3月会議に上程することに決定。3月会議において全会一致で可決。

②大河原町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則に係る申請の資格(欠格事由)の見直しについて

2月中旬に開催される法令審査会に提出。3月会議において可決。

文教厚生常任委員会

調査日 令和6年1月17日(水)

金ヶ瀬小学校の現状と課題について

本年度の重点努力事項について、学校管理運営上の課題、施設設備の課題について等、金ヶ瀬小学校を訪問し視察した。

行政視察

青森県 八戸市

視察日 令和6年2月20日(火)

視察内容

八戸市の公共施設の現地視察

視察先

- 八戸ポータルミュージアム「はっち」
- 「はっち」の目的
- 市民交流、観光PRイベントに対応できる複合施設
- 「はっち」の取り組み
- 会場づくり
- 貸館事業
- 自主事業



こんな町に住みたい



大河原南小学校6年 工藤 瑠さん



大河原南小学校6年 佐藤 晴斗さん

私は、楽しいイベントがたくさんある大河原町に住みたいです。桜祭りや夏祭りでは町民の他にも多くの人

が来て、にぎわっている雰囲気が好きです。だから、ハロウィンやクリスマスもイベントが開催されたら、嬉しい

です。盛り上がるイベントがあればあるほど、大河原町に住みたいと興味を持つ人が増えると考えます

さまざまな人が集まり人との交流が生まれる大河原町にするために私も進んでイベントに参加しようと思います。

ぼくは、子どもからお年寄りまでのすべての人がくらしやすい町に住みたいと思っています。その理由は、そのよう

な町であれば、町の人々が楽しく笑顔で明るく元気に過ごせると思うからです。僕の住んでいる大河原町は、桜があること

とで季節を感じられるし、子どもからお年寄りまで楽しめるパークゴルフ場やドッグランなどの施設があるので

そこで地域の人との交流もでき、とてもすてきな町だと思います。

街がどうなりたい

本町で初めてのネーミングライツを募集し、総合体育館が「株式会社ヒルズ」様で愛称が「ヒルズはねっこアリーナ」に、パークゴルフ場が「東北環境整備株式会社」様で愛称が「東北環境整備パークゴルフおおがわら」に決まりました。両施設とも企業様のようにみんなに愛される施設になってほしいと思います。

丸山 勝利



今回の表紙は



今回の表紙は金ヶ瀬小学校の登校風景です。新1年生にとっては初めての登校になります。前日の雨の入学式と打って変わり、青空広がる春うららの初登校となりました。新1年生の皆さん、これからの6年間お友達と一緒に楽しい思い出を作ってください。美味しい給食もたくさん食べてください。皆様のご入学を心より祝い申し上げます。

佐藤 暁史

編集後記

一目千本校も植樹101年目となり、白石川堤で開催された桜まつりも大変賑わいました。もしも、白石川堤の桜樹が無くなってしまうたら。実は関西方面で「クピアカツヤカミキリ」という特定外来生物による桜樹の被害が深刻です。会派で視察した大阪府太子町では桜樹の被害が進み残念ながら伐採された桜樹も見えました。

被害は埼玉県まで確認されています。予防方法もあるので、早めの対応を。「千本桜を千年先へ」みんなで一目千本校を守っていきましょう。

高橋 豊

- 編集発行責任者 議長 岡崎 隆
- 議会広報常任委員 委員長 佐藤 暁史
- 副委員長 佐久間 克明
- 委員 中村 淳
- 委員 高橋 豊
- 委員 須藤 慎
- 委員 丸山 勝利